

産業廃棄物処理計画書

平成30年 6月 5日

福山市長 様

提出者

住所 岡山市北区岩田町4番3号

氏名 広成建設株式会社 岡山支店

執行役員支店長 大間 秀樹

電話番号 086-222-7695

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	広成建設株式会社 岡山支店
事業場の所在地	福山市内
計画期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
(管理体制図)			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙1, 2のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度（平成 29年度）実績量
 計画：今年度（平成 30年度）計画量

単位：トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項	
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻										
汚泥	66.92	50.00								
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	25.396	20.00								
紙くず	0.32	0.00								
木くず	292.63	200.00								
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず	1.30	1.00								
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0.05	1.00								
鋳さい										
がれき類	1446.29	1400.00								
動物のふん尿										
動物の死体										
ばいじん										
廃石膏ボード										
コンクリートがら	0.05	350.00								
アスファルトがら	0	10.00								
混合(管理型)	6.68	10.00								
混合(安定型)	0	0.00								
有害汚泥	0.01	0.00								
合計	1839.646	2042.00	0		0		0		0	

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	処理委託に関する事項									
	全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量		再生利用業者への 処理委託量		認定熱回収業者への 処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻										
汚泥	66.92	50.00			66.92	50.00				
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	25.396	20.00			25.396	20.00				
紙くず										
木くず	292.63	200.00			292.63	200.00				
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず	1.3	1.00			1.3	1.00				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	0.05	1.00			0.05	1.00				
鉱さい										
がれき類	1446.29	1400.00			1446.29	1400.00				
動物のふん尿										
動物の死体										
ばいじん										
廃石膏ボード										
コンクリートがら	0.05	350.00			0.05	350.00				
アスファルトがら	0	10.00			0	10.00				
混合(管理型)										
混合(安定型)	0	0.00			0	0.00				
有害汚泥										
合計	1832.636	2032.00	0		1832.636	2032.00	0		0	

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業[D]・総合工事業[06]・一般土木建築工事業 [0611]
②事業の規模	12,974百万円（平成29年度完成工事高）
③従業員数	261人（平成30年3月時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>工事現場において発生した廃棄物</p> <p>↓</p> <p>収集運搬業者若しくは自社運搬</p> <p>↓</p> <p>再生処理業者に委託して再資源化 若しくは 処理業者に委託して処分</p>

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等，別紙3を参照）

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<p>（これまでに実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事ごとに処理計画を立て排出量を管理し減量化に取り組んでいる。 ・仮設材の再利用による産廃処理排出量の圧縮に取り組んでいる。
②計画	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状と同様の取組みを引き続き実施する。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極力産業廃棄物の種類ごとに保管場所を定め、分別保管に努めている。
②計画	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状と同様の取組みを引き続き実施する。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

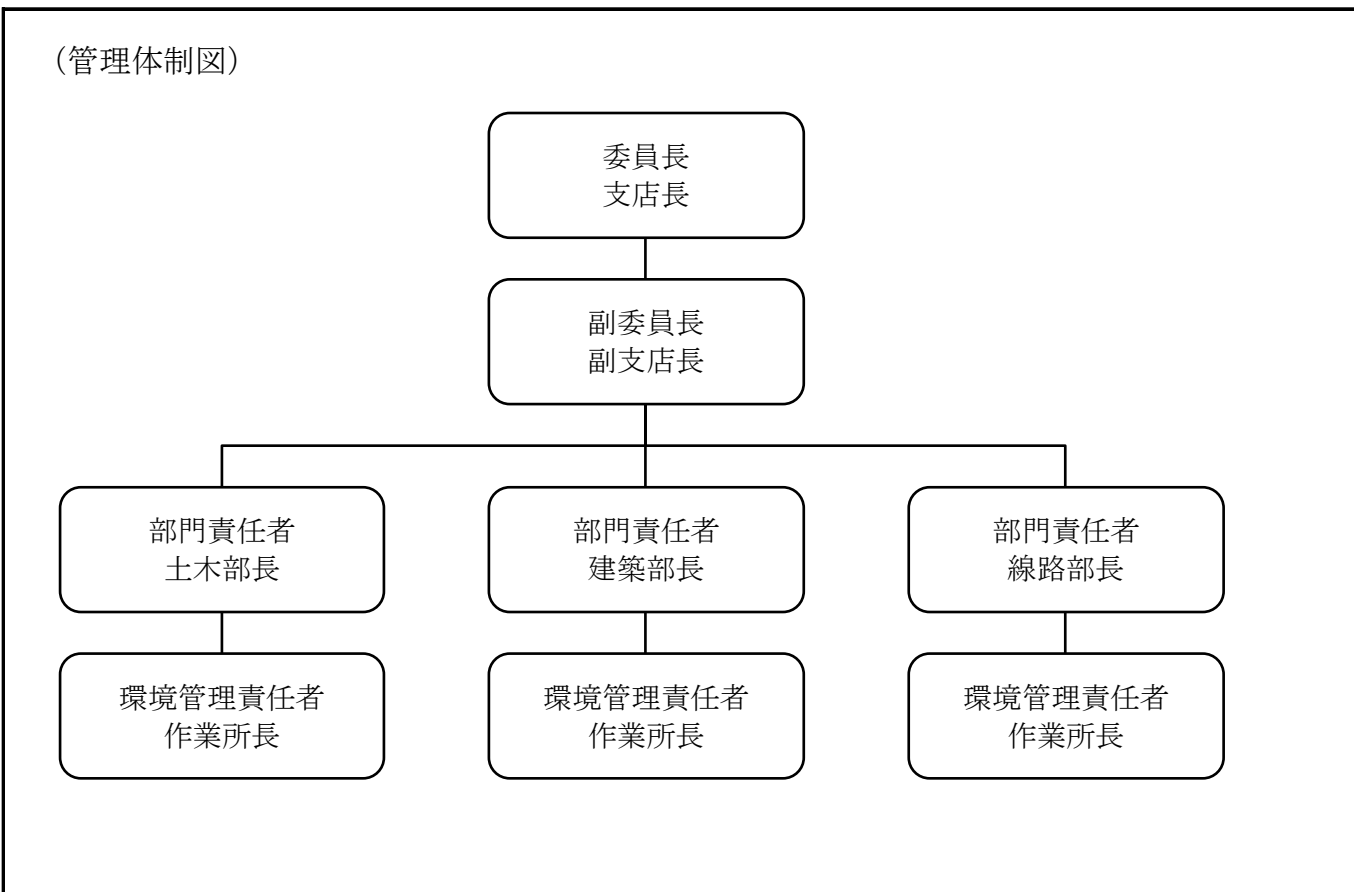
①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・実績のある産業廃棄物業者から業者選定を行い再生利用委託している。
②計画	(今後実施する予定の取組) ・今後とも出来る限り優良認定業者から業者選定し委託処理する。



組織の名称	支店地球環境委員会
組織の役割	産業廃棄物の適正な管理 再資源化の促進
組織体制	委員長 支店長 委員 副支店長、総務部長、各担当部課長、作業所長 事務局 総務部長
委員長の業務	支店における産業廃棄物の処理方法の策定及び改定 委託契約書の契約 廃棄物処理方法の策定 廃棄物処理に関する承認事項
委員の業務	廃棄物処理計画の策定 廃棄物の管理状況の把握 運搬業者・処理業者・再生利用業者の把握 監督官庁への各種報告 社員・協力会社の教育 各作業所に対しての情報提供・支援・指導の実施